

磨き合う緑陽



令和8年3月9日(月)
各務原市立緑陽中学校
学校便り 号外

◇学校評価（保護者・生徒）アンケートの結果より ～令和8年度に向けて～

A：そう思う B：やや思う C：あまり思わない D：思わない

令和7年12月に実施

項目	No	調査項目	対象	評価(人)				保護者 A+B	生徒 A+B
				A	B	C	D		
お子さん・自分自身について	1	日々の学校教育を生かして、自分の夢をもち、目標を高く設定して生活を送っている。	保護者	37	84	32	2	78%	80%
			生徒	73	150	51	4		
	2	授業を通して、基礎・基本が身に付くように、主体的に学習に取り組んでいる。	保護者	65	53	28	9	76%	90%
			生徒	120	132	23	3		
	3	学級・学年の一員であることを自覚したり、活動を通して成し遂げた満足感を味わったりしている。	保護者	90	50	13	2	90%	91%
			生徒	154	99	21	4		
4	道徳の授業や人権教育などを生かして、命を大切にしている。また、相手を思いやる心をもって差別や偏見のない生活を送っている。	保護者	97	54	1	3	97%	96%	
		生徒	163	105	10	0			
5	災害に対する命を守る訓練や事故の未然防止指導などを生かして、安全を意識して生活を送っている。	保護者	52	84	18	1	88%	95%	
		生徒	171	94	10	3			
6	日常生活の中で、自らの健康に関心をもち、運動に親しんでいる。	保護者	79	49	22	5	83%	83%	
		生徒	139	91	43	5			

項目	No	調査項目	対象	評価(人)				保護者 A+B	生徒 A+B
				A	B	C	D		
学校について	7	生徒一人一人の心を見つめ、生徒の心に寄り添った指導を行っている。	保護者	77	64	11	3	91%	94%
			生徒	133	128	15	2		
	8	学校の設備(普通教室、特別教室など)は、生徒にとって、活動しやすく学習に適した環境となっている。また、学校は購入した教材を効果的に使用できている。	保護者	69	74	9	3	92%	94%
			生徒	155	105	15	3		
9	保護者の皆さんや地域の方々との連携を大切にして、生徒の指導に当たっている。	保護者	71	75	8	1	94%	93%	
		生徒	141	117	18	2			
10	学校や生徒のようすは、学級・学年・学校だより、ホームページなど様々な教育活動の公開等により、伝わっている。	保護者	92	51	10	2	92%	88%	
		生徒	128	118	27	5			

【調査項目より】

ご多用の中、「令和7年度学校評価アンケート」にご協力をいただき、ありがとうございました。今年度の結果をお伝えします。アンケートでは上記の項目について、A～Dの4つの選択肢から回答をいただいておりますが、「A+B」を肯定的な回答として、割合で表しました。

保護者回答では、肯定的回答「A+B」の平均が88%（前年86.6%、+1.5pt）でした。なかでもNo.4「命・思いやり」97%、No.9「地域・保護者との連携」94%、No.9「設備・教材の活用」92%は9割超と高水準でした。これらは、生活・人権・安全に関する継続的な指導や、公開・協働の取組が評価された結果と受け止めています。また、生徒回答との比較ではNo.2「主体的な学習」で、-14ptと開きがあり、生徒の実感に比べて保護者への伝わり方が十分でないことが示唆されます。

来年度は、公平でわかりやすい学習評価とICTの適正化、個別支援と心理的安全性の向上、地域連携と情報発信の強化を重点に、授業内の学びのプロセスや成果の可視化を進めていきます。引き続き、家庭・地域と力を合わせ、安心して学べる学校づくりを推進します。

【記述式回答より】

保護者の皆様には、ご多用中にもかかわらず多岐にわたる貴重なご意見・ご要望をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

お寄せいただいた記述回答につきましては、職員会議等ですべての内容を確認し、教職員一同で共有いたしました。限られた時間と資源の中、すべてのご意見に対して個別の回答を差し上げることは困難ではございますが、多くの皆様からいただいた共通の課題や、特に緊急性の高い事項につきましては、以下の通り学校としての方向性や改善策をまとめました。

個別の状況に関するご相談や緊急を要する案件につきましては、随時、担任または教頭まで直接ご連絡いただけますと幸いです。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

1 学習・評価に関すること

- 定期テストの難易度が高すぎる。
 - 定期テストの難易度についてご心配をおかけしており申し訳ありません。現在、観点別評価とテスト内容の整合、基礎基本問題の比率、平均点・得点分布の妥当性について教科内で検証を進めております。改善点については、次年度の出題方針の検討や事前学習のポイントを提示するなどして反映いたします。
- 三者面談の時期が遅く学力把握がしづらい。
 - 学力把握の時期についてのご意見を受け、次年度の年間計画を見直しています。保護者・生徒ともに学習状況が把握しやすい体制を検討しています。

2 通学・生活環境について

- 女子トイレに洋式が少なく、休み時間に並んでしまう。
 - 実態を調査し、洋式化の対象拡大について、市へ要望を提出します。

3 行事・学校運営について

- 体育祭の保護者観覧エリアが狭く見えづらい。
 - 令和8年度は、保護者が観覧しやすい環境づくりのため、南グラウンドの使用等を現在検討しているところです。これにより、観覧エリアの拡大を考えています。

その他のご意見

多くの保護者の皆様より、先生方への温かいお言葉、合唱交流会・学校行事への励まし、日々の学校生活への肯定的なご評価を多数いただき、教職員一同、大変励まされております。今後も「安心して通える学校」を目指して取り組んでまいります。